

企画スタートを前に石垣教授に恐竜の魅力を聞きました



岡山理科大の石垣教授は、これまで数々の化石発掘に参加し、恐竜の生態系解明などに挑んできました。長年にわたって追い続ける恐竜の魅力とは。

— 35年以上、化石発掘に挑んでいますね。

「自分たちはどこから来たのだろう」と思つことはありませんか？ 地面に埋まっている化石を見つめるのは、そういう疑問に答えるための第一歩です。掘り出した地層や化石を調べれば年代はもちろんです。その時代の環境も調べることが出来ます。成果の積み重ねが人々の常識を変え、新しい見方や考え方を生み出す原動力になるのです。

— 恐竜との出会いは。

小学2年生のときに図鑑を見たのが最初です。映画「キングコング対ゴジラ」を映画館で見て翌日、担任の先生に「あの怪獣の正体は？」と聞くと、図鑑を見て「あら」と言われたんです。恐竜のイラストが描かれ、ゴジラそっくりで興奮したのを覚えています。— 転機は26歳と聞きました。

いしがき・しのぶ 1954年、和歌山県生まれ。高校教諭、モロッコ・エネルギー鉱山省研究員などを経て、92年林原自然科学博物館準備室に勤務。同館館長を務めた。2015年4月から岡山理科大教授。専門は古生物学。理学博士。



新しい考え生み出す原動力に

— これまで数々の成果を残しています。

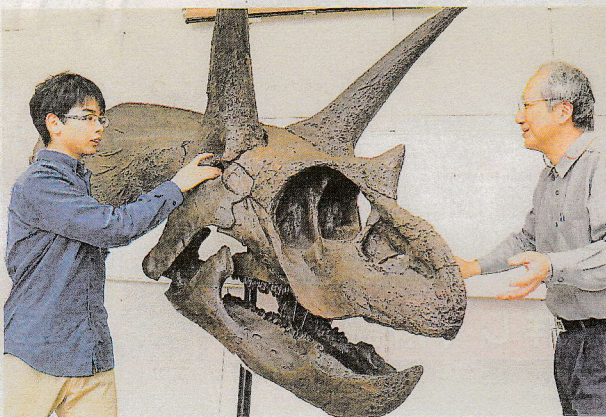
思い出深いのは、1998年の出来事です。モンゴル・ゴビ砂漠で二足歩行の大型肉食恐竜サウロロフスの足跡化石を世界で初めて発見しました。白亜紀後期の地層からです。群れで行動したことや歩く速さが分かるなど、恐竜の生態を知る上で、極めて貴重な資料となりました。

— 連載はどんな内容になりますか。

恐竜は大型で迫力があり、怪獣というイメージが強いかもしれませんが、骨格の基本的な仕組みは人間と共通している点が多く、背骨の周りの血管や神経の通り方も同じです。恐竜の遠い祖先とヒトの遠い祖先は3億2千万年前までさかのぼれば、一緒なのです。恐竜も私たちと同じように地球に住み、空気を吸い、食べ物を食べて生きていた動物。地球住民の先輩としての恐竜を身近に感じてもらえるよう、人の体と比べてたり、生態を探ったりしたいと思います。一緒に恐竜に会いに行きましょう！

毎月第3週の12面に掲載

トリケラトプスの頭骨（レプリカ）を組み立てる石垣教授（右）



トリケラトプス

角の秘密に迫ります

新企画にも登場する予定のトリケラトプスは、白亜紀後期に生きた恐竜です。肉食恐竜ティラノサウルスとともに、高い知名度を誇ります。

2本の大きな角と盾のように大きく張り出したえり飾りが特徴です。体は大きいのに、肉食恐竜のようにとがった歯がむき出しになっていないので「性格は優しくて力持ちに見える」（石垣教授）ため、子どもたちの間でも人気があります。

新企画では、角が持つ秘密に迫ります。

難題克服にやりがい——研究者向き

「大学や大学院で地質学、古生物学、解剖学などを学びながら専門的な研究方法と技術を身に付けるのが一般的」と石垣教授。経験を積むため、アメリカなど海外へ留学する人もいます。

化石の状態は一つ一つ異なり、いつも同じやり方というわけにはいきません。そのため、多くの作業をこなすための体力や精神力も重要になってきます。石垣教授は「新しい挑戦や難題を工夫して乗り越えることにやりがいを感じる人は、研究者に向いているといえます。我こそはと思う人はぜひ目指してほしいですね」と話しています。

古生代

2億5200万年前

前半はさまざまな爬虫類や大型の両生類が繁栄していました。後半になると恐竜が現れます。私たちの祖先である哺乳類もこのころ出現したと考えられています。

代表的な恐竜
エオラプトル



中生代（恐竜の時代）

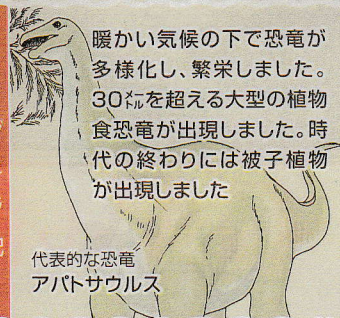
三畳紀

ジュラ紀

白亜紀

暖かい気候の下で恐竜が多様化し、繁栄しました。30cmを超える大型の肉食恐竜が出現しました。時代の終わりには被子植物が出現しました。

代表的な恐竜
アパトサウルス



ヨロイ竜、ツノ竜、鳥脚類や大小さまざまな肉食恐竜が繁栄しました。時代の終わりには火山活動が活発化し巨大隕石も落ちて鳥類以外の恐竜は絶滅しました。

代表的な恐竜
ティラノサウルス

6600万年前

新生代

